

## 子牛の銅中毒に注意しましょう

子牛の銅中毒が発生しています



### 銅中毒

銅含量の多い飼料及び飼料添加物を多給した場合に発症します。乳牛・肉牛どちらでも起こりますが、黒毛和種子牛は体が小さいため、特に危険です。

過剰になった銅は肝臓に溜まり、肝障害を起こす他、移動や寒さ、暑さなどのストレスにより急激に血中に放出され、赤血球を溶かしてしまいます。血液は真っ黒でどろどろした感じになり、突然の食欲停止や赤黒いおしっこ(血色素尿)、白目や歯茎が黄色い(黄疸)といった症状が出ます。ひどい場合には、数日で死亡します。

飼料の袋に、ペプチド銅、硫酸銅などの表示のある飼料を多数組み合わせると危険です。怪しいと感じたら、銅を含む飼料を控えてください。

とはいえ、銅は子牛の発育になくてはならないミネラルです。極端な対応をすると銅欠乏を起こしてしまうので、これも要注意です。

飛騨家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111 FAX:0577-32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

